会報第4号

「産奥会」通信

「産奥会」同窓会　　平成24年(2012年) 9月 発行

事務局／〒023-0003　岩手県奥州市水沢区佐倉河字東広町66-2
岩手県立産業技術短期大学校水沢校内　TEL：0197−22−4422
ホームページ：http://www.san-oukai.net/

印 刷／あべ印刷株式会社

東日本大震災からの復興における環境の変化

同窓会長　菊池正紀

まず始めに、このたびの震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

あの大震災から1年半が過ぎ、今なお、被害の大きさを物語る大きな爪痕が残ったままになっており、復旧復興が遅れている地域が多くあります。国や県の政策が遅れているためでもありますし、代替用地の検討確保の難しさもあります。

しかし、いろいろ物議を言っても、仮設住宅で暮らしている方々の環境は去年より劇的に変化があったようには感じられないと思います。所々には、仮設の店舗や飲食店横町等、衣食に関しての不便さは解消しつつあると思いますが、「住」に関しては仮設住宅に不満不便をしている方がほとんどだと思います。何年後かには完全に仮設住宅も姿を消す事になります。いち早く、普通の暮らしが出来るような環境整備をしていって欲しいと思います。

私は前号において、我が母校の基本理念について述べましたが、今後の復旧復興への道のりに必要不可欠であり最も重宝される人材のトップバッターになり得ることと、改めて考えさせられる言葉だと思いました。

―基本理念「ものづくり産業の高度化、高付加価値化に対応できる高度な知識及び技能を兼ね備えた実践技術者を育成し、就業を通して本県産業の振興に寄与すること」―

まだまだ続く復旧復興には、私達同窓会員の多くの仲間も携わっており、現地での再会・交流が実現できるような事があれば嬉しく思います。復興という大きなプロジェクトの中の小さなプロセスが私達が活躍すべきステージだと思います。

さて、同窓会では「産奥会通信」の発行とホームページによる情報発信をしているところですが、今年度は同窓会名簿の発行を計画しています。会員相互の情報交換や母校との連携を始めクラス単位・科単位の交流等に活用して欲しいと思います。平成26年度には水沢校開校10周年が控えており、同窓会として記念事業への支援などに取り組みたいと考えています。

同窓会事業には皆さんの協力が欠かせませんので、同窓会活動への参加をお願いいたします。

三次元座標測定機 DuraMax

生産技術科

生産技術科で今年度更新となった三次元座標測定機を紹介します。

ドイツ、カールツァイス社の新型CNC三次元測定機DuraMaxで、生産現場設置式の測定機で操作も比較的簡単です。東北では初の導入になります。

最大測定範囲は三次元X・Y・Z軸各500㎜、最大ワーク質量100kg、本体寸法は奥行1140㎜、幅1080㎜、高さ1810㎜というコンパクトなボディが特徴です。100V電源1本で動作し、従来の三次元測定機に必要だった安定測定用エア供給コンプレッサーが不要なため、CO_2削減により省エネで環境にもやさしい測定機です。測定ソフトウェアは比類のない操作性で高い評価を受けているCALYPSO（カリプソ）を使用しています。

実習では、製品の実測値とCADの設計データを比較し、設計・製作段階での寸法差の問題検討など、より実践的に学ぶことができます。

（測定結果例）

産技短水沢校の充実に向けて

岩手県立産業技術短期大学校（水沢校）
副校長　下屋敷　正　樹

産奥会の会員皆様には日頃より、学校運営にご協力ご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

産業技術短期大学校水沢校では、本年3月に七回生が卒業し、前身の高度技術専門学院から数えての水沢キャンパス全体での卒業生は千四百人を超えるに至りました。

県内企業への就職は6割から7割で推移していますので、約千人が県内工業界の中堅若手社員として活躍されており、当校に寄せられる期待も高まっているところです。

特に、東日本大震災を契機としたインフラ整備の推進、再生可能エネルギー技術の普及実践、東北地方におけるトヨタ自動車グループの生産拠点化など、社会情勢の変化は著しくなっており、職業能力開発施設としても新たな視点での教育訓練が必要になってきております。

最近の水沢校の対応をご紹介しますと、今年度、人材育成のあり方やカリキュラム等、総合的見直しをするための校内検討委員会〈事務局は矢巾本校〉を、設置したところであります。現在、検討チームで現状分析と情報収集調査を行い、課題の摘出などの議論を開始しており、来年度末に素案を取りまとめる予定です。

グローバル経済の進展に対応したものとしては、アジア市場の急速な拡大を考慮し、昨年度までヨーロッパで実施していた海外研修を、今年度は中国〈上海〉で行なうことにしております。

また、学生の職業意識を高めるため、昨年度、職業社会論の見直しを行い、実際の就職戦線を踏まえた求職支援セミナーや作文のプレゼンテーションなどを導入したところですし、一方では、社会貢献への関心を持たせるため、沿岸の被災地でのボランティア活動も実施しています。

学生にとっては、現場実践力を体得するための技能検定や資格試験がある中で、新たな教育メニューが加わり、学校生活は多様化し時間的にやや厳しいものとなるわけですが、平成21年度に作られた学生歌の題名どおり、「精進」を重ねていってほしいと思っています。

このほか、水沢校の対外的業務として、ハローワークに求職申し込みをしている方々の教育訓練を職業訓練協会等に委託して行う業務〈委託訓練〉が、今年度から矢巾本校から一部移管されました。この委託訓練の対象となる地域は、奥州、一関、大船渡のハローワーク管内となっており、職業能力開発施設として重要な役割を担うこととなりました。

会員の皆様方には、毎年、寄贈品をいただき有効に活用させていただいているところでありますが、会員皆様方自身の情報交換やネットワークづくりも大切になっており、ベースとなる同窓会員名簿を、本年度内に発行する方向で取り組ませていただきたいと思っております。

最後になりましたが、当水沢校の充実に向け、ご協力をお願い申し上げますとともに、会員皆様方の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

同窓会と母校　この一年

平成23年度

- 10月
  - 同窓会報『産奥会』通信第3号発行
  - 産奥会から母校へ学生活動の支援品（大型テント一式）を贈呈
  - 公開講座「次世代エネルギーデバイス」（馬場校長特別講演）の開催
- 11月
  - 震災ボランティア活動（大船渡市にて生産技術科2学年他）
  - 推薦入学試験第Ⅱ期の実施（水沢校・矢巾校）
  - 震災ボランティア活動（奥州市にて建築設備科1・2学年他）
- 12月
  - 海外研修（ヨーロッパ）の実施（1学年）
  - 震災ボランティア活動（陸前高田市にて電気技術科1・2学年他）
- 1月
  - いわて就職ガイダンス（1学年）
- 3月
  - 平成23年度卒業式（7期生70名）・卒業を祝う会
  - 『産奥会』同窓会平成22・23年度期第2回臨時総会の開催

平成24年度

- 4月
  - 平成24年度入学式（新入生57名）
  - いわて就職面接会Ⅰ（2学年）
- 5月
  - クラスマッチの開催（総合優勝 建築設備科2年）
- 6月
  - いわて就職面接会Ⅱ（2学年）
  - キャンパス見学会の開催（高校生等）
  - ボランティア活動（陸前高田市にて電気技術科1・2年他）
- 7月
  - キャンパス説明会の開催（高校生等）
- 8月
  - 『産奥会』同窓会平成24年・25年度期第1回役員会の開催
  - 企業実習（インターンシップ）の実施（1学年）
- 9月
  - 推薦入学試験の実施（水沢校第1期）

大震災ボランティア活動

平成23年11月23日勤労感謝の日、奥州市内で「大空からサンタが降りてきた！」というイベントが行われました。このイベントは、被災した陸前高田市と地元奥州市の小学生を対象に様々なものづくり体験などを通して夢を持ってもらおうというものです。水沢校の楽園祭のものづくりコーナーを見た水沢青年会議所のメンバーからの依頼でした。そこで、学生と職員が参加させていただき、建築設備科らしく塩ビ管を加工した水鉄砲作り、熱で収縮するプラスチック板でキーホルダー作り、そして花屋の指導を受け挑戦したフラワーアレンジメント作りを行ないました。

ボランティアというより夢作りのお手伝い。被災地の小学生が夢を持って進んでくれることを祈っています。

（建築設備科）

H23年11月1日
生産技術科2年
大船渡市須崎地区にてガレキ撤去・側溝の泥上げ作業

会員からの便り

㈱リードコナン
佐藤宏幸
（平成6年度・情報システム科卒）

近況報告

震災から約１年半経過しましたが、被災されました皆様には心からお見舞い申し上げます。

高度技術専門学院を卒業して18年が経ちますが、本当に月日が経つ事の早さを感じます。

学院では情報システム科において情報処理を学び、新卒で現在の会社へ入社しましたが、当時、パソコンは今ほど普及しておらず、専門性が高く取り扱いに注意が必要なものでした。今ではOSやソフトウェア・ハードウェアの進化により扱いやすく便利なものとなり、企業・自治体に至っては一人１台まで割り当てられ、個人では複数所有している事も珍しくありません。

入社して半年ほど経過した頃、Windows95の発売によって学院や就職してから学んだことが古いものとなった時、この進化の早さに不安を抱き失敗した事もありました。

在学中はプログラマーを目指しておりましたが、現在は営業職を担当しています。大きな会社と違い一人何役もこなす必要がありますが、その分お客様との繋がりや仕事のやりがいも大きいと感じています。入社時と比べビジネスモデルが大きく変化し、昔のやり方のままでは成り立たないところもあり、技術の進化と市場の変化を学び挑戦する日々が続いています。

今思えば、学院では2年という短い間でしたが、現在の仕事の基礎を支える重要な部分を創る大事な時期だったと改めて思います。

在学生の皆さんには失敗を恐れず前向きに取り組み、人生の先輩である先生方の助言に耳を傾け、自分の進む先を見据えて学校生活をお過ごし下さい。

アサヒ工業㈱
小西大介
（平成17年度・建築設備科卒）

近況報告

まず始めに、一連の震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

私は、地元岩手を離れ県外の会社に勤めています。入社して早６年が経過しました。

ここまで大きな成長はあまり無いと思いますが、無事に日々を過ごしています。

現在、勤務する会社の内容としては、京葉地区の石油コンビナート・製鉄所を主に、建設工事、装置・設備の定期的修繕工事など配管工事を中心に請負い、施工管理をしています。

入社して3年ほどは、監督さんの下で毎日のようにどやされながら走り回っていました。

お蔭で、最近は大規模な工事ではありませんが、会社の方や協力事業者の方々のご協力もありながら、一人で案件を任せてもらえるようになりました。

業務内容が、現場での施工から事務所での図面作成、工程管理、お客様や協力業者との対応など幅広いため、産技短で学んだこと、その際にお世話になった先生方や2年間共に学んだ友人との時間が、今の私にとって大きな財産となっていることを実感しています。皆さんも、そういった知識やコミュニケーションを活かして、活躍して頂きたいと思います。

最後に、これからの同窓会の発展と同窓生の皆さんのご健康をお祈りして私からの近況報告を終わります。

水沢工業㈱
熊谷祐太
（平成23年度・電気技術科卒）

社会人になって

社会人になり、数箇月が過ぎました。会社の仕事や雰囲気にも慣れてきました。取引先の企業への出張も多く、忙しい日々を送っています。

私が入社した企業では、産技短で学んだ知識を活かす場面は多くありません。しかし、産技短で学んだことはムダにはならないと感じています。学んだことは、自分の自信になり糧となるからです。

学生の頃、私はあまり成績が良くありませんでした。震災の影響もあり、就職先が見つかるかとても不安でした。そんな中、現在の企業に就職出来たことをとても幸いだと思い、仕事に励んでいます。

これから就職活動を行う後輩の皆さんにも、自分がやりがいを感じる仕事に就いて欲しいと思っています。

先生からの便り

電気技術科講師
（平成10年度～同16年度、
平成22年度～現在）
加藤邦庸

皆様、お元気ですか。あの大震災から1年半程になりますが、いかがお過ごしでしょうか。震災復興に励まれている皆様の姿が目に浮かびます。

さて、水沢校の近況ですが、この原稿を書いたのは梅雨明け頃の蒸し暑い7月26日（木）です。学生は夏休みに入りましたが、第二種電気工事士の技能試験が7月29（日）にありますので、今日は電気技術科1年生の半数以上が自主的に学校に来て練習しています。そして、夏休みが明けると、インターンシップ、期末試験、楽園祭、海外研修、産技短展、・・・と楽しみなイベント等が目白押しです。

そんな中、私が就職やインターンシップ等の関係で企業訪問した際に、卒業生の皆様のご活躍をその会社の方から聞くことがたびたびあります。その際に具体的な事例を挙げて褒められることもありますので、お世辞ではなくて本当にその会社の要になっているのだと実感しております。

ところで、皆様の多くが就職試験を受けた際の志望動機の中に、「人の役に立ちたい」とか「社会貢献したい」等の旨のキーワードが少なからず入っていたのではないでしょうか。多くの皆様の就職先は、東日本大震災からの復興に通じるライフラインに深く関わる分野であることからも、その初心を生涯忘れずに仕事に励んでいただきたいと思います。

釜石市出身の私としましても、東日本大震災からの復興は、まだまだだと感じております。働き盛りの皆様の力が期待されています。

産技短のホームページも、時々でよろしいですのでチェックしていただきまして、近くまでお越しの際には遊びにお寄りくださり、皆様の近況も教えていただければ幸いです。

それでは、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈りいたします 。

■平成23年度卒業生の状況（人）

科　名	卒業者数	就職希望者	就職者	就職率（うち県内）	就職先等
生産技術科	26	26	24	92.3%（76.9%）	㈱小林精機、㈲ジーエフトップ、和同産業㈱、㈱ユーテムプレシジョン東北工場、京浜光膜工業㈱ 岩手工場、㈱サクシーディング、㈱高根精工岩手工場、㈱アイオー精密、㈱多加良製作所岩手工場、㈱ベン、メルコジャパン㈱北上工場、㈱創恵、小山田工業所㈱、パンチ工業㈱北上工場、水沢工業㈱、東燃ゼネラル石油㈱、鈴木機械㈱、流浸工業㈱東京事業部
電気技術科	23	23	23	100.0%（30.4%）	東京ネオン電気㈱、勝田電設工業㈱、㈱キンレイI.S.W.、㈱興和電設、昭和アステック㈱、岩舘電気㈱、東北電力㈱、日本電設信号工事㈱、㈱久慈設計、㈱二富電機、フジテック㈱、㈱ベン、㈱エヌ・ティ・ティエムイー、㈱エジソン、㈱ディック電子、㈱電創総合サービス、㈱トークス、東日本旅客鉄道㈱、デンキのフジコウ、㈱奥羽日立ソレックス㈱
建築設備科	21	20	20	100.0%（60.0%）	丸片機水工業㈱、富士水工業㈱、ニッポー設備㈱、第一設備工業㈱、㈱ダイデンテクノス、㈱興和電設、東北公営企業㈱、㈱富岡鉄工所、㈱興盛工業所、岩手電工㈱、サカイ工業㈱、鈴木住設、オヤマダエンジニアリング㈱、㈲中野設備工業所、㈱丹野設備工業所、岩手酸素㈱、シミズ・ビルライフケア㈱、三秀建設工業㈱、紫波建設㈱
計	70	69	67	97.1%（56.5%）	進学者1名（東北職業能力開発大学校応用課程）

■平成24年度入学生の状況（人）

科　名	定　員	応募者	合格者	入学者
生産技術科	20	20	23	17
電気技術科	20	25	21	21
建築設備科	20	25	20	19
計	60	70	64	57

※応募者数は第1志望者のみ。合格者数は第2志望を含む。

■出身地別入学者数（人）

岩手県広域振興局		平成23年度	平成24年度
県央盛岡地区（本局）		11	14
県南	花巻地区	4	7
	遠野地区	1	1
	北上地区	4	9
	奥州地区（県南本局）	18	15
	一関地区	10	3
沿岸	大船渡地区	4	2
	釜石地区（沿岸本局）	2	2
	宮古地区	1	2
県北	久慈地区（県北本局）	1	1
	二戸地区	2	1
岩手県外		2	−
計		60	57

産業技術短期大学校水沢校異動情報
（平成24年3月）

【転　出】
- 石井栄治　建築設備科（県教育委員会へ）
- 藤本和行　建築設備科（二戸高等技術専門校へ）

【転　入】
- 中村　武　建築設備科（二戸高等技術専門校から）
- 佐藤雅彦　建築設備科（県教育委員会から）

【新設部署】
- 職業能力開発担当（事務局）

楽園祭2012のお知らせ

平成24年9月29日（土）・30日（日）
10:00〜16:00

- 餅まき（午前・午後）
- ものづくり教室
- おもちゃ病院
- 電動自動二輪・エコランカーデモ走行
- 農業大学校野菜販売（29日）
- 電気自動車試乗会（30日）
- 岩谷堂高校鹿踊（30日）
- ストリートダンス（30日）
- 模擬店その他

餅まき

エコランカー（卒業製作）

編集後記

『産奥会』会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、今回で第4号となった産奥会通信はいかがでしたでしょうか。
編集委員会では、発行にあたり、同窓生の方々の活躍をはじめとした近況報告などを紹介していますが、寄稿者がなかなか見つからない状況になっています。
次号に向け、寄稿をしたい方、ご希望やご意見のある方は、編集部までご連絡頂ければ幸いです。
最後に、同窓生の皆さまのご健康とご活躍をお祈りし、締めとさせていただきます。

編集委員長　高橋　充

母校からのお知らせ等

● 海外研修（1年生）
昨年度までヨーロッパで実施してきた海外研修ですが、日本からの多くの企業が進出し、グローバル化が進むアジア最大市場である中国（上海）にリニューアルすることになりました。

● 職業能力開発担当
離職者等の職業能力開発の推進を図るため、事務局内に職業能力開発担当を新設しました。離職者等再就職訓練事業、日本版デュアルシステム訓練事業、及び母子家庭の母等職業的自立促進事業を行います。

● 聴講生制度
平成25年度から産業技術短期大学校（水沢校・矢巾校）で開講している授業科目の一部を聴講することができます。開講は、前期は4月、後期は10月で、募集時期はそれぞれ2月と7月となります。詳しくは、『産技短』ホームページ内［平成25年度聴講生］を参照してください。　http://www.iwate-it.ac.jp/

同窓会名簿
今年度中に同窓会名簿を作成する予定です。会員の皆様あてに住所、その他について照会をすることになりますのでご協力をお願いします。